

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                        |     |        |     |
|----------------|------------------------|-----|--------|-----|
| ○事業所名          | ハレアカラ                  |     |        |     |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年4月1日 ~ 2026年3月30日 |     |        |     |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 38名 | (回答者数) | 19名 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年4月1日 ~ 2026年3月30日 |     |        |     |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 6名  | (回答者数) | 4名  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年4月22日             |     |        |     |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                            | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 通所時に児童が利用できる療育コンテンツの充実<br>現在は言語指導の他、パルシュレ・レクリエーション・SST<br>を中心に活動しています。 | 児童が飽きない様に毎日コンテンツの入れ替えと担当者の割り<br>振りを変え、固定化しない活動を心がけています。                     | 言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・心理士がいる為、<br>もっと機能訓練の充実を図りたいと考えています。                                   |
| 2 | 送迎の際にその日の活動の内容報告やご家庭・施設間での情報<br>共有がしっかりと行っている。                         | 児童の成長において気付きを大事にしている為、日々の変化や<br>気付いた事を保護者様と話し合う事により、児童の成長に今後<br>も繋げていきたいです。 | 毎月行っているケース会議にて児童の情報を共有、少しの変<br>化でも共有する事で児童の成長に繋がるポイントを見つける<br>事が出来る為、今後もしっかりと行っていきたいです。 |
| 3 | 安全第一で運営している為、小さな傷や施設外で付いた傷等を<br>確認し、ご家庭と情報共有を行っています。                   | 通所時に児童に変わった点がないか？を常に確認し、変化があ<br>れば児童本人に確認を行っています。                           | 保護者の方が安心してお子様方をお預け頂けるよう安全に注<br>意し、安心して通所が出来る環境を維持・管理していきま<br>す。                         |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|---|--|
| 1 | 進学を伴う次年度以降の利用について保護者との連絡関係が十<br>分に図れていなかった。 | 年度更新時の次年度利用について取りまとめに時間を要し連絡<br>が遅くなり、ご迷惑をお掛けする事案がありました。次年度よ<br>り半年前には次年度の動きについて保護者の方と話し合いを始<br>められるように事前準備を行ってきたい。 | 進学に際した情報の取りまとめを早期に行い、状況に合わ<br>せた選択肢を予め示していけるように事前準備の徹底を図<br>る。 |
| 2 | 教材費の徴収について遅れが発生した                           | 教材費の納入を失念している保護者も多く、督促を極力控えて<br>はいたが今後は定期的に納入チェックを行い早期納入を行って<br>頂く流れを作る。  | 毎月納入チェックを行い、都度保護者に連絡を行う。                                       |
| 3 | 地域との関わり合いについて行えていない点が多い。                    | 毎日の支援と地域の関わり合いについて、第三者を交え、行っ<br>ていく方向性を考えていきたい。   | 関係機関と地域の関わりについて相談し方向性を決めたい。                                    |